

大切な命を救うために



9月9日(水)は救急の日、9月6日(日)～12日(土)は救急医療週間です。皆さんも、いざというときの対処法を理解し、一人でも多くの命を救えるようにしましょう。

素早い応急手当てが生死を分ける

大切な人が突然、目の前で倒れたとき、あなたは何ができますか。傷病者に何も応急手当てがなされなかった場合、呼吸停止から10分で生存率は10パーセント以下になってしまいます。

成田市では救急車の到着までに平均約10分、震災や大規模な災害発生時は、さらに時間がかかる可能性があります。救急車が到着する前に、現場に居合わせた人がどれだけ早く応急手当てを行えるかが、傷病者の救命や社会復帰も含めた今後の人生を大きく左右します。

心肺蘇生法を 確認しておこう

市では、市民の皆さんに心肺蘇

生やAEDの操作方法などを身に付けてもらうため、定期的に普通救命講習会を開催しています。

AEDは、病気や事故などで正常に動かなくなった心臓に、必要に応じて電気ショックを与え元の正常な動きに戻すための治療機器です。心電図の解析や電気ショックが必要な判断を機器が自動で行うため、医師以外の人でも操作できます。

今後の講習会の開催日程については、広報なりたや市ホームページでお知らせします。

なお、現在の心肺蘇生法の手順は通常の方法とは異なり、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を踏まえたものになっています。くわしくは市ホームページ(https://www.city.narita.chiba.jp/anshin/page0156_00022.html)を確認してください。

救急車の利用は 緊急時のみ

令和元年の救急車の出動件数は7,499件で、このうち救急搬送した6,538人の約半数は、入院の必要がない軽症でした。

緊急性がない状況で救急車が要請された場合、本当に必要とする傷病者の元へ遠くの消防署から救急車が出動することになり、到着が遅れて救えるはずの命が救えなくなる恐れがあります。

病状やけがの状況から、急いで病院へ連れて行った方が良かったときには、迷わず119番通報をしてください。しかし、緊急性がなく自分で病院に行ける場合には、救急車を本当に必要としている人のために、自家用車や公共交通機関などを利用してください。

119番通報をするときは

次のことを、慌てず、落ち着いて、はっきりと伝えてください。

- 住所(市区町村名から)
 - 年齢・性別
 - けがや病気、意識の有無
 - 既往症・かかりつけ医療機関
 - 通報者の氏名・電話番号
- ※くわしくは警防課(☎20・1592)へ。